

# 浅水管理を徹底して分けつの発生を促進！ 圃場をこまめに観察して早めのワキ対策！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

## ◎今後の気象

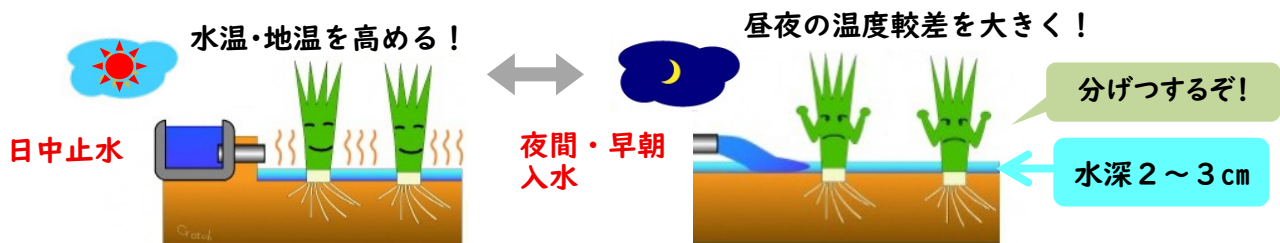
5月21日発表の2週間気温予報では、25日、26日は夏日となる見込みで、26日から30日にかけては、最低気温が平年よりかなり高くなる見込みです。

## ◎管理のポイント

### (1) 活着後は速やかに浅水管理へ移行！

苗が活着しているにもかかわらず、深水管理のままになっていませんか？

活着後は速やかに水深2～3cmの浅水管理とします。水温・地温の日較差が小さいと、分けつの発生が緩慢になります。日中止水、夜間または早朝かんがいを徹底して温度差を大きくし、分けつの発生を促しましょう。



### (2) 土壌の異常還元（ワキ）は、稲に異常が見え始める前の早めの対策が必要！

ワキが発生すると根の生育が阻害され、養分が吸収されにくくなるため、葉色が淡くなり、分けつの発生も阻害されます。

高温・晴天が続く場合、田んぼに足を踏み入れてガスが発生するか確認し、ガスの発生が多い場合は、田干しや夜間落水を行い、ワキを改善しましょう。



### (3) 除草剤は遅れずに散布！

ヒエ等の雑草の生育が早まっています。圃場をよく確認して、適期を逃さず、遅れずに除草剤を散布しましょう。除草剤のラベルを確認し、使用基準を遵守して使用しましょう！散布時は3～5cmの湛水状態とし、散布後7日間は止水とします。

**農作業事故と熱中症に十分注意してください！**

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

